

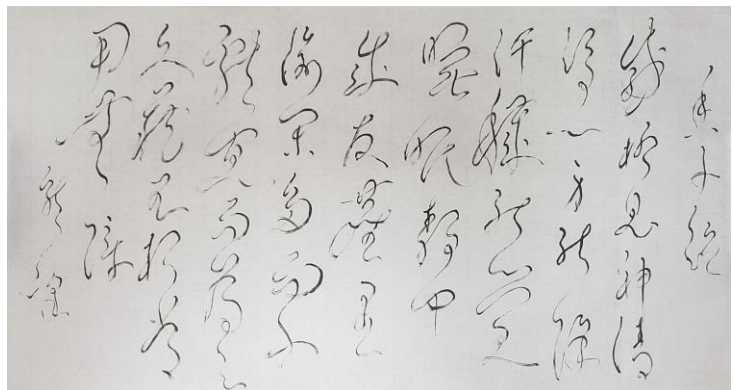
はしゅきょうこう 把手共行 み仏の言葉

手を取り合って共に歩いていくこと。四国巡礼では「同行二人」という。一人は自分、もう一人は弘法大師さま。禅宗ではお釈迦さまであり、達磨さま、道元さま、瑩山さま、お祖師さま方である。仲の良い夫婦、兄弟、家族、子どもたち、この世でご縁があって知り合った仲間たち、共に手に手を取り合って同行同修の道を行く。お寺の長女佳穂（2歳半）、長男徳寿（1歳）、二人仲良く「把手共行」で育てて欲しい。



香十徳

神田恭真



九、久蔵不朽（長い年月を経ても朽ちることなく）
十、常用無障（常に用いても障りがない）
仏前や様々な場所で焚く香には十の感性が備わっている。香は人と場所を清らかにして供養の心が故人と生きている私たちに正しく伝わる。

- 一、感格鬼神（感覚を澄まし）
- 二、清浄心身（心と身を清らかにする）
- 三、能除汚穢（よく穢れを除き）
- 四、能覚睡眠（よく眠りを覚ます）
- 五、静中成友（静けさの安らぎとなり）
- 六、塵裡偷閑（忙しいときでも落ち着きを与える）
- 七、多而不厭（多くても飽きることなく）
- 八、寡而為足（少なくても足りる）



堂内禁煙

健康増進法改正全面施行により堂内全面禁煙となります。

仏事の知識 宗派とは

仏教は二千五百年前にお釈迦さまによって開かれましたが、時代を経るにつれてその教えの解釈の仕方によりいろんな宗派ができあがりました。お釈迦さま在世の頃はもちろん録音ということはなく弟子たちそれぞれが、その折々の説法を耳で聴いて理解していました。お釈迦さま滅後、大勢の弟子たちが集まり、皆が聴いた教えを一つに纏めて後世に残そうと經典が作られました。そこからまたその教えに対してこれが正しい、この方がお釈迦さまの教えそのものである。といった意見の相違からお釈迦さまの伝えたかったものは何か、これを大事な教えの根本としようという立場ができ、仏教がいろんな宗派に分かれることになりました。禅宗系（曹洞宗、臨済宗、黄檗宗）、天台、真言、浄土（浄土宗、浄土真宗）日蓮系（日蓮宗、法華宗）等に分派している。

仏事の知識 ↓



曹洞宗とSDGs（イステイジーズ 持続可能な開発目標）曹洞宗では人権・平和・環境のスローガンとともにSDGsに取り組んでいます。

